

情報モラル啓発セミナー2011in沖縄

企業や組織に求められる情報モラルと人権への配慮

～インターネット社会と人権・消費者保護対策の効果的な進め方～

パソコンや携帯電話等を通じたインターネットの利用が不可欠になってきました。その反面、個人情報や機密事項の漏えい、誹謗中傷など人権や事業の存亡にかかわる問題が急増しており、個人情報保護や情報セキュリティについて十分な対策を進めることが強く求められています。また、Web サイト開設やメールによる情報配信等の IT 活用が急速に進む一方で、対策を進めているつもりでも思わぬトラブルが発生することがあります。

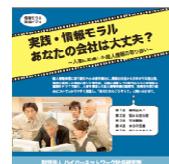
本セミナーでは、IT の利用・活用に際して、しっかりした体制や手順を整えるために必要な考え方や具体的な方法について、情報機器の発達や最新の法令の動向、豊富な実例を交えながら、各分野の専門家がていねいに解説いたします。是非、ご参加ください。



- 日 時:平成24年2月7日(火) 13:00～17:00
- 会 場:沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハ (6階 ニライカナイ)
〒900-0016 那覇市前島 3-25-1 www.kariyushi.co.jp/urban/info.html
- 参加料:無料
- 定 員:200名(先着順)
- 対象者:企業及び公共団体をはじめとする各種団体、グループの皆さん、並びにインターネットを活用する皆さん
- 申込締切:2月2日(木) 定員に満たない場合は当日会場でも受付ますが、できるだけ早めのお申込をお願いします。

13:00～	主催者挨拶
13:10 ～13:50	ビデオプレゼンテーション 「実践・情報モラル～あなたの会社は大丈夫?～人権に配慮した個人情報の取り扱い」 (オリジナルビデオを活用した二人の講師による実践的な解説)
13:50～14:50	講演:「インターネット社会と人権」 講師:牧野 二郎 氏 (牧野総合法律事務所 弁護士法人 所長弁護士) 内容:インターネットやケータイの利用が企業活動や社会生活に不可欠のものとなった反面、情報の不適切な取り扱いによる漏えい事件、人権侵害が多発しています。顧客を傷つけ企業が加害者となるケース、風評被害など被害者となるケース、いずれも企業や組織の社会的責任が厳しく問われます。まさに情報を扱う基本姿勢、「情報モラル」の問題です。最新動向と課題、人権を守る適切な対策を解説します。
15:05～16:05	講演:「食の安心・安全と信頼確保のための情報モラル」 講師:新保 吉伸 氏 (株式会社サカエヤ 代表取締役) 内容:東日本大震災の影響も含めて、「食の安全性」は大きな関心を集めています。日本の畜産業と食肉産業は、2000年の口蹄疫、2001年のBSE、最近の生肉食中毒事件などで大きな痛手を被りました。これに対して、ネットを利用した情報公開、トレーサビリティシステムをいち早く提供し、風評被害を防ぎ、消費者に安心・信頼してもらえる牛肉を販売する「近江牛ドットコム」の実践活動を紹介し、企業にとっての情報モラル確立の重要性を訴えます。
16:10～17:00	パネル討論:「いまなぜ情報モラルなのか」 (受講者のご質問にもお答えします。)

※教材として使用する情報モラルの取り組み方を
題材にした啓発用パンフレットを進呈します!【無料】



※ITコーディネータ資格者には、
資格更新条件に関する運用ガイド
ラインに準じ(特非)ITコーディネータ協会から4時間(4時間1ポイント相当、上限なし)分を付与します。

◆ お問い合わせ先 ◆

財団法人ハイパーネットワーク社会研究所 担当:渡辺、川上
〒870-0037 大分県大分市東春日町51-6 大分第2ソフィアプラザビル4F
Tel:097-537-8180 Fax:097-537-8820 メール:moral@hyper.or.jp HP: www.hyper.or.jp

